

MEDICAL NEWS

<https://hospital.kikkoman.co.jp>

妊娠、出産、子育ては、家族の喜びとともに様々な課題を伴うものですが、日本では幅広い支援制度が整備されています。これらの制度を活用することで、より充実した妊娠、出産、子育てライフを送ることができま

まず、出産育児一時金は、2023年4月から従来の42万円から50万円に増額されました。これは、出産に伴う経済的な負担を軽減するための手当です。また、妊婦健診の助成や児童手当（所得制限あり）、乳幼児の医療費助成、本人の高額療養費、医療費控除などもあり、健康管理や医療費負担の軽減に役立ちます。

さらに、出産手当金や育児休業給付金は、勤務先から支給される制度です。

出産手当金は、出産に伴う経済的な負担をサポートし、育児休業給付金は、仕事を休んで子育てに専念するための経済的な支援を受けることができます。

2022年10月からは、産後パパ育児休制度が導入され、男性も育児休業を取得しやすくなりました。これにより、父親も積極的に子育てに参加し、家族の絆を深めることができます。

2023年1月からは出産・子育て応援交付金がスタートしました。妊娠届出時と出生届出時には、各5万円の現金やクーポンが支給されます。これは、経済的な負担を軽減し、家族の応援をするための新たな取り組みです。自治体によって交付されるものが異なるので、詳細は各自治体にお

出産・育児でもらえるお金

産婦人科診療部長 秋津 憲佑

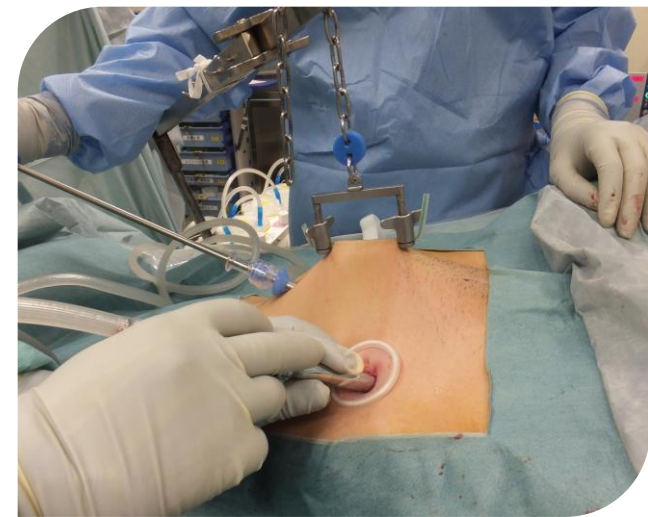
問い合わせ下さい。これらの制度は、妊娠、出産、子育てをする家族にとって重要な支えとなりますが、どれも手続きが必要で、自分から申請しないといけないことができないので、注意してください。どれもシステム化されているので、簡単に受け取れます。一人ひとりの状況に合わせて、これらの制度を上手に活用しましょう。幸せな妊娠、出産、子育てをお過ごしください。



内視鏡手術のご案内

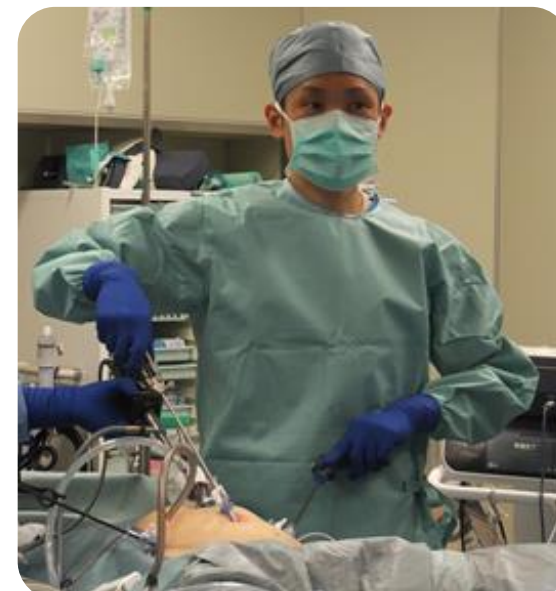
内視鏡手術は、お臍と下腹部に数ヶ所小さな穴をあけ、カメラと手術器具を入れ、モニターを見ながら行う手術です。開腹手術に比べ、傷が小さく、痛みが少ないため、体への負担が少ないことが特徴です。入院期間・仕事復帰までの期間が短いため、現代女性のライフスタイルにも合致した手術と言えます。

当院では、皮下鋼線吊り上げ法による内視鏡手術、お腹に傷を付けないvNOTES式（経腔的内視鏡手術）での手術も行っており、個々の疾患に合わせて最適な術式を提案しております。他院で開腹手術になると説明された方でもぜひお気軽にご相談下さい。



vNOTES（Vaginal Natural Orifice Transluminal Endoscopic Surgery）とは？

腹部に傷が一つもない腹腔鏡手術で、腹腔鏡のカメラや鉗子などを膣から挿入し、摘出組織も膣から取り出す術式です。腹部に傷を作らず手術できるためさらに低侵襲となり、術後の痛みが軽く、手術合併症も軽減され、早期社会復帰が可能です。全ての患者さんが対象になるわけではありませんが、従来の開腹手術や通常の腹腔鏡手術でしかできなかった症例も、vNOTESで行なえるものが増えてきています。



対象疾患

子宮筋腫、卵巣嚢腫、子宮腺筋症、骨盤臓器脱、子宮内膜症（チョコレート卵）など

術式

※2022年度実績

腹腔鏡下子宮全摘術	85件
★うち経腔的腹腔鏡下手術（vNOTES法）	21件
腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）	3件
腹腔鏡下付属器摘出術	32件
★腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	10件



● ● ● 総合病院の強みを活かし、チームワークで医療を提供します ● ● ●

消化器内科・生活習慣病内科



消化器内科

上部・下部消化管や肝胆膵領域を中心とした消化器疾患に対して、専門的な診療を幅広く展開しています。

生活習慣病内科

生活習慣が原因で起こってくるさまざまな疾患でお悩みの方を、生活指導や栄養指導、薬物療法などで治療する診療科です。

循環器内科

虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)や閉塞性動脈硬化症といった動脈硬化性疾患をはじめ、心不全や不整脈など循環器領域全般の診断と治療を行っています。薬物治療だけでなく、虚血性心疾患や閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル診断や治療、不整脈に対するペースメーカー植え込み治療なども行っています。



泌尿器科

排尿困難や尿失禁、夜間頻尿などの排尿障害や尿路結石症、結石性腎盂腎炎などの複雑性尿路感染や泌尿器科領域の悪性腫瘍(膀胱癌、前立腺癌、腎癌、精巣癌、陰茎癌、一部の後腹膜腫瘍)の診断と治療、男性更年期障害に至るまで幅広く対応しております。



麻酔科

全身麻酔を中心に硬膜外麻酔、脊椎麻酔を行っています。安全な、安心そして満足の得られる麻酔管理、より早い術後回復のための努力を行っています。

麻酔科が他の診療科と最も違う点は、「治療」を患者さんに行うのではなく患者さんを常に見守る「ケア」が主な仕事ということです。「ケア」とは手術を受ける患者さんに対し生態情報に基づき、手術というストレスを術中術後を通して取り除くことにあります。「ケア」無くして満足の得られる医療はあり得ません。



外科

胃がんや大腸がんなどの悪性疾患のほか、胆石症、虫垂炎、大腸ポリープなど腹部の病気を幅広くカバーしています。

多職種が参加するカンファレンスで、個々の患者さんの治療方針を検討し、チームで最善の医療を提供できるように努めています。



整形外科

関節外科、外傷外科、手の外科の手術療法を中心に、股関節、膝関節、上肢・下肢骨折など多岐にわたる疾患を診療しております。高齢者に多い脆弱性骨折は合併症を有することがほとんどで、生活習慣病や内科的疾患の治療、骨粗鬆症治療、理学療法など、多職種が連携して早期手術と術後のケアにあたっています。



小児科

小児科一般外来では、発熱疾患を中心とした急性期の気道症状、消化器症状をおもに診療しています。専門外来は、内分泌、循環器、神経があります。

予防接種外来では、定期接種の他に、シナジスの接種を行っています。同時に乳幼児健診では、通常の健診、早産児・低出生体重児におけるキャッチアップ確認の発達フォローを行っています。



産婦人科

婦人科

年代に応じた医療を提供できるように心がけております。手術に関しては子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣嚢腫などに対して低侵襲で負担の少ない内視鏡手術を中心に提供できるよう努めております。

産科

医師・助産師・看護師・病院スタッフ一同、安心で安全なお産をしていただけるようお待ちしております。総合病院として様々な専門医が在籍しておりますので、何か合併症をお持ちの方、妊娠による合併症併発した場合にも対応しますのでご相談下さい。



眼科

眼科の一般的な疾患を診ておりますが、特に白内障・緑内障、小児眼科(斜視・弱視治療)・硝子体手術(網膜前膜)に重点を置いた診療を行っています。

手術は白内障手術をメインに行っておりますが加齢黄斑変性症に対する硝子体注射や黄斑前膜に対する硝子体手術も対応しています。

